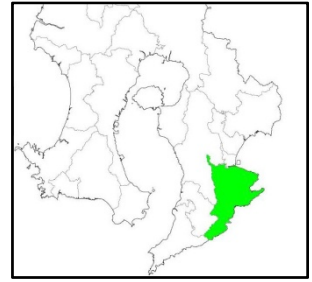


## 上野物産株式会社の取組の概要

### 1. 地域の概要

上野物産株式会社の所在する鹿児島県肝付町は、大隅半島の東南部に位置し、森林面積は24,654haであり、そのうち民有林は8,626haを占めています。民有林のうち人工林は62%であり、齢級構造は6～10 齢級が中心となっています。



### 2. 取組1「低コストで頑丈な作業路づくりの取り組み」(平成18年度)

#### ①取組の内容

四万十式作業路を採用した高密度路網を開設しました。

#### ②取組の結果

鹿児島県公共造林事業作業路開設費(2,500円/m)と比較して1,631円/mと35%減となりコストを削減することができました。



### 3. 取組2「大苗・低密度植栽・無下刈による造林作業の省力化」(平成19年度)

#### ①取組の内容

大苗・低密度植栽と無下刈施業を組み合わせた新しい作業システムと従来のシステムを比較しました。

##### ・新システム

地拵: 枝条筋置、伐根は除去。

植付: スギ1年生苗(60cm程度)を2,700本/ha植栽。

下刈: 植栽年度を含め、6年間実施。

##### ・従来のシステム

地拵: 枝条の多い箇所は枝条筋置、少ない箇所は枝条残置、伐根は除去しない。

植付: スギ2年生苗(80cm程度)を1,500本/ha植栽。

下刈: 3年目に下刈を1回実施。



#### ②取組の結果

全ての工程において労働力投資は減少し、総計で従来のシステム100人日から新システムでは58.5人日と42%減少し、生産コストも、総計で従来のシステム1,789,043円から、新システムでは1,078,158円と40%減少し、労働生産性・生産コスト共に向上しました。

### 4. 取組3「高効率低コスト作業システム構築事業」(平成20年度)

#### ①取組の内容

間伐作業において伐倒から搬出までの工程を連動させた新しい作業システムを試行し、各工程が完全に独立した従来の作業システムと比較しました。

#### ②取組の結果

労働生産性は従来のシステム3.0m<sup>3</sup>/人日から新システムでは7.3m<sup>3</sup>/人日と143%増加し、生産コストについても、8,000円/m<sup>3</sup>から4,830円/m<sup>3</sup>と40%削減することができました。



→詳細版はこちら 1(PDF:2,123KB)、2(PDF:1,823KB)、3(PDF:1,200KB)